



# 琥珀石 - みどり -



## 医療センターからの お知らせ

内科・腎臓内科・循環器内科・脳神経内科・皮膚科（火曜日のみ）の受診には、医療機関からの紹介状が必要です。

救急の場合は、この限りではありません。直接、救急外来に電話で相談してください。

### —基本理念—

私たちは、すべての患者さまの安全と権利を守り、良質な医療環境のもとに、安心して適切な医療が受けられる病院をめざします。

### —基本方針—

1. 患者さまと職員の安全確保
2. わかりやすい説明の工夫と守秘義務の順守
3. 医療の質の向上、チーム医療の充実、全人的医療人の育成
4. 地域医療の連携強化
5. 自治体病院としての公共性を追究



# 診療科紹介

## 内 科

当院の内科外来患者数は、1700名/月、入院患者数1900名/月です。

これらの患者さんに対して、当院の内科は、総合内科専門

医1名、消化器疾患を中心に内科を専門とする医師4名、内科全般にわたる幅広い疾患の診療に当たる医師3名、糖尿病外来診療に当たる医師1名の合計9名の内科医で診療に当たっています。

消化器、呼吸器、糖尿病・内分泌や血液・造血器など内科全般にわたる幅広い疾患に対し、各医師の専門分野にかかわらず診療を行っていますが、昨今は、専門医の必要性が求められる場合が多いため、内科系では、循環器内科・脳神経内科・腎臓内科と、また外科系では、外科・脳神経外科・呼吸器外科・心臓血管外科など、他科の専門医と連携を取り合って対応しています。

血液疾患、呼吸器疾患、アレルギー・膠原病などについては、専門医不在のため、症例検討会を定期的に行い、お互い協力しながら診断と診療に当たり、さらに、当院の専門外来や和歌山県立医科大学附属病院など高次医療機関とも連携をとりながら対応しています。

外来は、毎月第1、3、5火曜日に肝臓専門外来、第3木曜日に呼吸器専門外来、毎週木曜日にリウマチ専門外来、毎週木曜日に糖尿病専門外来（和歌山県立医科大学より）を予約制で行っております。

当院は、新宮医療圏の地域医療支援病院として診療所と機能分担を進めています。そのために、研究会や介護施設職員や家族向けの講習会を定期的に行い、これらの行事にも内科として積極的に参加しています。

現在、9名の内科医で診療に当たっていますが、内科疾患の多様性と症例数の多さから、皆さんにご迷惑をおかけすることが多いかと思いますが、今後も医師の確保に努めながら頑張っていきますので、よろしくお願いします。



## 職場ウォッチング

### 【外来1ブロック】

内科、外科、循環器内科、腎臓内科、脳神経外科、脳神

経内科の各診療科と「点滴室」、「外来化学療法室」を担当しています。

近年、入院期間を短縮するため、治療や検査を外来で行うことが増えています。

患者さんが治療しながら質の高い生活を維持できるよう少しでもお手伝いすることが外来看護師の大切な役割であると考えています。そのため、院内各分野の専門スタッフだけでなく、地域のかかりつけ医、訪問看護・介護職の皆様と協力しながら、患者さんを支えられるように頑張っています。



1ブロック

### 【外来2ブロック】

救急部、整形外科、光学診療部・放射線科で構成されており、急病やけがの対応、様々な検査や処置を行う部署です。

救急外来では、24時間体制で緊急性が高い状況でも安全に救急救命処置が行えるよう治療環境を整えています。そのため、看護師は救急救命処置の資格習得（BLS、ACLSなど）や、各科の診療介助ができるよう日々研鑽しています。

光学診療部門・放射線科は、24時間呼び出し体制を取っており、急性心筋梗塞に対する心臓カテーテル検査や消化管出血に対する内視鏡的治療など、緊急疾患に迅速に対応しています。また、消化器内視鏡技師資格を持つ看護師を中心に、より専門性の高い技術を提供できるよう、知識・技術の向上に努めています。



内視鏡室



2ブロック

## 飛沫感染と接触感染

テレビや新聞では、連日のように、新型コロナウイルス感染症についてのニュースが流れています。その中で、飛沫感染や接触感染という言葉を見た事はありませんか？今回は、飛沫感染や接触感染について、お伝えしたいと思います。

飛沫感染は、くしゃみや咳によって、空気中に飛ばされたウイルスを、吸い込むことで体内にウイルスが入り込み感染を起こします。その距離は、1回のくしゃみや咳で、約1m～2mの範囲におよぶといわれています。毎年流行するインフルエンザも飛沫で感染します。そのため、咳がある時は、感染を広げないために、マスクを着用しましょう。手で押さえて、咳やくしゃみをすると、手にウイルスが付着し、その手でドアのノブなどを触ることによって感染が広がってしまう可能性があるからです。マスクがない時は、ティッシュや袖などで鼻と口元を覆う方法があります。これらを総称して、咳エチケットといわれています。また、マスクを外すときは、マスクの表面に、ウイルスなどが付着している可能性もあるため、ゴムや紐を持って外しましょう。

次に、接触感染は、感染した人の粘膜や皮膚、吐物や排泄物に直接触れたり、ウイルスの付着したドアノブや手すりなどを触れたりして感染を起こします。RSウイルスやノロウイルスが、接触感染します。その手で、目や口や鼻を触れることによって、体の中に、ウイルスが侵入し感染します。そのため、手洗いをおこなうことが大切になります。指先や爪の間、手の甲や手首、親指など洗い残しやすい部分もしっかりと洗い、十分な水で流し、清潔なタオルやペーパータオルで拭きます。

感染症にかからないため、また、感染をひろげないために、一人一人が出来る感染予防をおこなうことが大切です。



## 登録医のご紹介

### 谷口クリニック

御浜町阿田和 6066  
TEL 05979-2-4333  
谷口 智行 院長

【診療科目】

内科、外科、整形外科、リハビリテーション科

当診療所は、僻地の地域医療を行っている入院施設のない診療所です。



### 新宮市国民健康保険直営 熊野川診療所

新宮市熊野川町日足 322  
TEL 0735-44-0314  
中村 有貴 院長

【診療科目】

内科、外科、小児科

火曜日から金曜日の午前中診療を行い、午後には寝たきりの方や高齢で来院できない方への往診や訪問看護を行っています。

出張診療は毎月2回の金曜日と毎月1回の火曜日の午後に行っています。





読者・ご家族の皆様

# アメニティーセット (入院セット) 導入のお知らせ

アメニティーセット（入院セット）は、入院時に必要とされる入院用品を1日単位でレンタル（ご利用料は入院費と別途請求されます）でき、手ぶらで入院できる便利なシステムです。

当院では、10月から導入する予定です。



## ◆◆◆◆ 新任医師の紹介 ◆◆◆◆

脳神経内科 部長  
いしぐち ひろし  
石口 宏



3度目の赴任ですが、当地域での経験と大学で得た最新の知見を基に、診療に当たります。

整形外科 医長  
いわはし ひろき  
岩橋 弘樹



地域の医療に貢献できるようがんばります。よろしくおねがいします。

整形外科 医員  
たにがみ まさずみ  
谷上 正純



新宮医療圏の医療に貢献できるよう頑張ります。よろしくおねがいします。

## ◆ 退任医師の報告 ◆

令和2年6月30日 退任

氏名	診療科・役職
檜皮谷 泰寛	脳神経内科部長
延 與 良夫	整形外科医長
木戸 勇介	整形外科医員



## お料理紹介

# 残暑において元気が出るようなお料理を紹介します。

冷やし甘酒〜♪甘酒というと冬のイメージがありますが、実は夏の季語。さかのぼること古墳時代、日本書紀に登場以来、平安貴族を経て江戸時代以降庶民にも親しまれている甘酒。現代では年中購入できるようになっています。そのまま飲むのが苦手な方は下記のように混ぜて使ってみてはいかがでしょうか？

### 甘酒グラタンの作り方

材料（2人分）：甘酒 100cc 人参 10g コーン（冷凍）10g  
ほうれん草 60g 玉葱 70g 舞茸 40g 油 5g ピザ用チーズ 20g  
白味噌 小さじ1と1/2 小麦粉 大さじ1 8枚切り食パン 1枚

- ① 白味噌を甘酒でときほぐします。食パンは一口大に切ります。
- ② 人参は千切り、コーンを茹でます。
- ③ ほうれん草、舞茸は一口大、玉葱は薄切りに切ります。
- ④ お鍋に油を入れて②、③を入れてしんなりするまで炒めます。
- ⑤ ④に小麦粉を全体にまぶし入れ絡め、火を止めます。
- ⑥ ⑤に①を入れてとろみがつくまで中火にかけます。
- ⑦ 耐熱皿に食パンを並べ、⑥を流し入れ、ピザ用チーズをのせてこんがり焼き目がつくまでトースターで焼きます。



【2人分】 エネルギー 410kcal、炭水化物 60.2g、蛋白質 14.6g、脂質 13.1g、塩分 1.8g

## 編集後記

暦の上では処暑が過ぎましたが、まだまだ猛暑が続きます。

私は家庭菜園を楽しんでいます。

今回は、ニンニク栽培について書いてみます。

10月初旬よりニンニクの植え付けを行います。種は6g程度の大きい種を使用し、割れを防ぐ為に深さ10cm程度埋めます。

春になると葉の長さまで伸びた芽を摘み取り、上の葉が4、5枚枯れると収穫です。

免疫力アップに是非栽培をされてみてはいかがでしょうか。

野菜の王様（ニンニク）